

みんなでつくる! 未来の学校

第四中学校区小中一貫校を
考えるワークショップ

ニュースレター
Newsletter Vol.5
2022/9 発行



勉強会「これからの教育を考えよう」

2022/7/20 (水) 19:00~21:00

門真市民プラザ

参加者: 29名

発行元: 門真市教育委員会

勉強会の概要

東京大学教授の牧野篤氏とコミュニティデザイナーの山崎亮氏をゲストにお招きし、牧野氏による講演と、牧野氏と山崎氏による対談形式で、これからの時代の新しい教育について考えていきました。

講師情報

牧野篤

(まきの あつし・東京大学教授)

専門の領域は、社会教育学・生涯学習論など。とくにコミュニティの自律と住民の学習とのかわりなどがある。公民館や生涯学習の共同調査、多世代交流型コミュニティの構築などを進めている。



山崎亮

(やまざき りょう・コミュニティデザイナー)

2005年にstudio-Lを設立。地域の課題を地域に住む人たちが解決するためのコミュニティデザインに携わる。まちづくりのワークショップ、住民参加型の総合計画づくりなどに関するプロジェクトが多い。



講演: これからの教育と学校づくり

新しい学習指導要領

子どもたちが生きていく力をつけるために、学校は何をやるべきかと問われている。人生100年時代と言われるが、学校は100年の人生のうち20年程度しか関われない。そうであるなら、学校は100年間学び続けるための基礎をつくる場所となるべき。新しい学習指導要領では、探求するためのスキルや身構えを身に付けられるようにすることをめざし、体験活動と言語活動を活発にすることを掲げることについて検討した。

これからの時代の教育ビジョン

現代では、大人でさえ将来を見通せない。通常、ビジョンには目指す将来像を掲げるが、新しい杉並区のビジョンでは、目標を書かず、子どもたち自身で目標を決めていくことを掲げた。みんなが当事者になるという方針を立て、ワークショップを開催し、子どもたちの声を聞いた。子どもたちが人から言われてうれしい言葉は「ありがとう」という自分を認めてくれる言葉だった。そこから、「みんなが、みんな、みんなのしあわせをつくる教育」というビジョンにまとめた。

「関係の貧困」を乗り越えるために

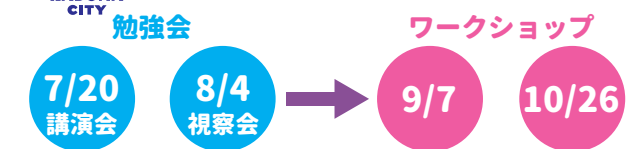
日本の母子家庭は、世界でも突出して貧困率が高い。生活に余裕がなく忙しくなると、親が子どもと関わる時間が減少する(関係の貧困)。その影響で語彙力が少なくなり、学校の授業についていけない。そして、ダメな子だと言われる。自己肯定感が下がり、自身の健康面も気を付けなくなる。子どもたちは、良好な人間関係をつくること、自身の自立につながる。そのために、学校や地域で「大丈夫」と思える関係をつくるのが求められる。

昨年度のふりかえりと今年度の取り組み

スクールツクールは、子どもたちが9年間過ごす新しい学校の整備を検討する場としてスタートしました。2021年は大きな整備方針・コンセプトを話し合い、基本計画にまとめました。今年度のスクールツクールは、新しい学校について学ぶ2回の勉強会(講演会と視察会)と、施設の使い方や設備、備品について考えるワークショップを予定しています。スクールツクールと合わせて、準備会、教職員ワークショップ、子どもワークショップの4つの意見交換の場で門真市の新しい学校づくりについて話し合い、その結果を基本設計に反映していきます。



2022 スクールツクール KADOMA CITY 今年度の流れ



対談: これからの教育と学校づくり



人生100年時代の大人の学び

山崎: 人生100年時代、20年間だけ学び、80年間は学ばずに暮らせる時代ではなくなりました。50歳前後の人たちにとって、まだ人生は50年もあります。学びが更新されていない人はどこで学べばいいのでしょうか。子どもたちの学びも大切ですが、大人も新しい学校で学べるというのではないのでしょうか。



牧野: これまでの学校は、一人の先生がたくさんの子どもたちを見るような設計になっていますが、これからは、子どもたちが対話する中で、相手の中にあるものを引き出し合いながら学べるような設計になると思います。大人の学び直しも、子どもたちと対話することで、子どもに自分の中のものを引き出してもらうことができます。地域の大人が子どもたちと触れ合うことで、学ぶことができるのです。それはとても楽しいことです。その時に学校の空間はどうなっていたらいいのかを考えることが大切です。



子どもたちに最も学んでほしいこと

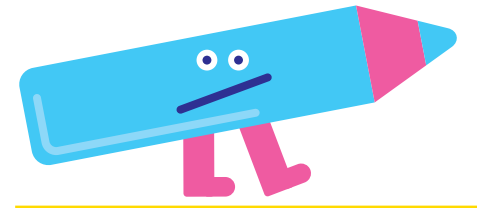
牧野: ここにいていいのだと思える自己受容感を身につけてもらうことです。それには、対話の力が必要です。対話をしていない子どもは学力も伸びないと言われています。あれしなさい、これしなさい、と言われている子どもは探求しなくなってしまいます。話しながら自分の考えを変えていくことや、新しい価値を知ることができる力をつけること。言葉をつかって自分を表現し、相手を受け入れる力が必要なのです。幼いころから対話し、関係をつくる力が自己肯定感、自己受容感につながっていくのです。

山崎: まちづくりのワークショップの中には、「自分の意見を聞け」と言う人がいます。「自分が正しい」と言う人もいます。先生や親の言うことを聞きなさいと言われ続けてきた人はそうなってしまいます。教育が変われば、20年後のまちづくりのワークショップでの対話の在り方も変わるだろうと思います。



しきつかい しょうちゅういっかんこう けんがく 2022/8/4 (木) 13:30 集合

しょうちゅういっかんこう じっせんじれい けんがく しきつかい かいさい いずみし みなみまつお のがくえん もりぐちし がくえん かしょ
 小中一貫校の実践事例を見学する視察会を開催しました。和泉市にある南松尾はつが野学園と守口市さつき学園の2箇所に
 行きました。それぞれ現在の学校運営についてお話を聞き、実際に校舎の中を歩いて見学しました。



みなみまつお のがくえん さんかしや にん
南松尾はつが野学園 参加者：16人

ばしょ おおさかふ いずみし の
 場所：大阪府和泉市はつが野 6-45-1
 かいこう なが みなみまつおしょうがっこう みなみまつ
 開校までの流れ：南松尾小学校と南松
 おちゅうがっこう とうごう
 尾中学校を統合し、さらにニュータウ
 ンの一部を校区に加え 2017 年に開校。
 じどうせいとすう がくねん にん
 児童生徒数：9 学年 593 人
 がっこう とくちよう くぎ ちゅうしん
 学校の特徴：4-3-2 の区切りを中心
 に 9 年間を見通した学習指導を実践し、
 みづか まな こ いくせい
 自ら学ぶ子どもを育成



とくべつしえんがつきゅう きょうしつかんきょう
 特別支援学級の教室環境



じどうせいとすうぞう そな おお つく
 児童生徒数増に備えて、大きく作られ
 た職員室



ぜんき こうきかてい へや しき
 前期と後期課程で部屋が仕切られた
 保健室



しょうこうぐち はい
 昇降口に入ってすぐのエントランスに
 もう てんじ
 設けられた展示スペース



かいほうかん おくじょう すいそうがくぶ
 開放感あふれる屋上テラス。吹奏楽部
 がここで演奏をすることもある



ぜんき こうきかていよう としょ
 前期と後期課程用の図書すべてが
 この1つの図書室におさめられている



めん ひろ
 バスケットコートが3面とれる広い
 たいいくかん
 体育館



ちいき かた はな あ
 ランチルームや地域の方との話し合い
 の場につかわれる多目的室



ちいき かた はなし あ ば
 地域の方の話し合いの場につかわれる
 ちいきかつどうしつ
 地域活動室



じどうせいと きょうしつがくねん はい たてもの
 児童生徒と教職員のみが入れる建物と
 あいだ しき
 の間を仕切るゲート



しつ おんがくしつ しつ だん
 2室ある音楽室。1室はひな壇になっ
 ている

がくえん さんかしや にん
さつき学園 参加者：12人

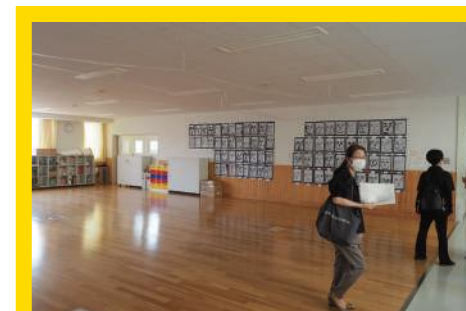
ばしょ おおさかふ もりぐちし かすがちよう
 場所：大阪府守口市春日町 13-26
 かいこう ながれ もりぐちしりつ しょうがっこう
 開校までの流れ：守口市立さつき小学
 校と守口市立第三中学校の統合により
 2016 年に開校
 じどうせいとすう がくねん にん
 児童生徒数：9 学年 620 人
 がっこう とくちよう せい のこ
 学校の特徴：6-3 制の良さは残しつ
 つ 4-3-2 の区切りを中心に目的に応
 じた区切り設定で9年間の教育を実践



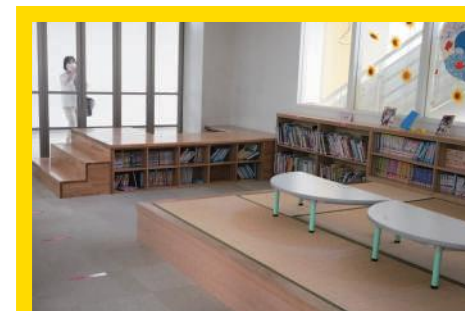
せつび じゅうじつ きょうしつ
 設備が充実したつながる教室



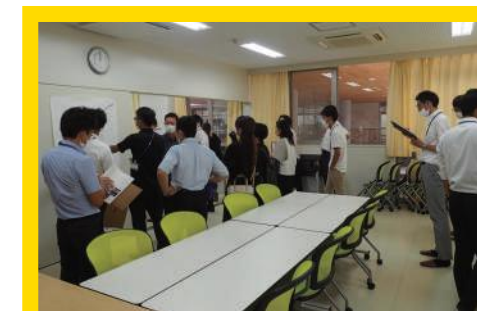
はっぴょう てんじ かつよう とくべつきょうしつまえ
 発表や展示にも活用できる特別教室前
 の廊下



がくねんしゅうかい かく
 学年集会ができる各フロアの
 フリースペース



せいちょう あ つか かた
 成長に合わせた使い方ができる
 メディアセンター



かつどうばしょ
 さつきフレンドの活動場所になる
 ちいきしえんしつ
 地域支援室



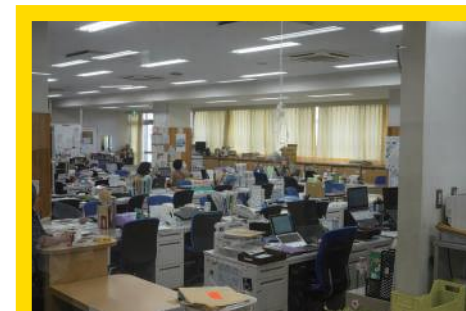
こ こうりゅう ば
 子どもたちの交流の場にもなる
 おくじょうさいえん
 屋上菜園



ちいき ひと
 地域の人とつくれた
 コミュニティカレンダー



ふくすう がくねん しょう ひろ
 複数の学年で使用できる広さがある
 ランチルーム



しょうちゅうきょういんぜんいん しょういんしつ
 小中教員全員がいる職員室



じんこうしば うんどうじょう
 人工芝の運動場



れいだんぼうせつび たいいくかん
 冷暖房設備がある体育館